

取り扱い説明書

DAYTONA®
36247/36248①/⑤

*取り付ける前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使い下さい。

*この取り扱い説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管して下さい。

*この商品もしくはこの商品を取り付けた車輛を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取り扱い説明書も併せてお渡し下さい。

PROGRESS RACING CDI	適応車種	商品 NO.
	スーパー JOG-ZR/JOG JOG アプローチ/EX/タイプ II	3 6 2 4 7 3 6 2 4 8

この度はデイトナ「プログレスレーシングCDI」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
ご使用前には必ずこの取り扱い説明書をよくお読み下さい。また、取り付け前に必ず商品の内容をお確かめ下さい。
なお、万一お気付きの点がございましたら、お買い求めの販売店にご相談下さい。

＜特徴＞

- 従来のレーシングCDIから高回転の連続使用に重点を置き、更に細かい点火特性の見直しをしました。
- ケースには新たにアルミ押し出し材ケースを使用し、冷却効果を上げました。
- 作動確認用LEDを標準装備し、エンジン不調等の原因が確認しやすくなりました。

＜商品内容＞

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	プログレスCDI		1	②	タイラップバンド	L=300	2

＜注意事項＞

- ・作業に入る前に必ず安全を確保した上で作業を行って下さい。
- ・この商品は、記載されている適応車種以外の車輛には使用しないで下さい。
- ・この商品は、予告無しに価格や仕様の変更をする場合があります。また、文中にご紹介した商品についても同様です。予めご了承下さい。
- ・この商品は道路運送車輛法および道路運送車輛の保安基準に適合しております。ただし一般公道において 30 km/h を超える速度で走行した場合は、ライダー自信が道路交通法違反（速度超過）で罰せられます。一般公道では違法運転を心掛けて下さい。
- ・この商品を装着してレーシングコース（サーキット）、高回転を多用する走行を行う場合、**プラグの番数を # 8 程度に上げて下さい**。通常に使用される方は特に変更されなくても結構です。
- ・36247 はバッテリー点火方式です。バッテリー点火はバッテリーの電源で点火しますので、バッテリーを取り外すと、エンジンの始動性が悪くなります。
- ・様々なチューニングパーツを装着しテストしていますが、装着パーツによっては当社のプログラミングした点火時期に合わない場合もありますのでご了承下さい。当社パーツでのマッチングはもちろん十分です。
- ・プラグは必ず抵抗入りのレジスタープラグをご使用下さい。レーシングプラグ等の使用はノイズを発生しやすく、CDI の性能低下、作動不良、破損につながります。
- ・プラグキャップは純正をご使用下さい。純正以外のプラグキャップを使用しますと、CDI が正常に作動しなくなる場合があります。
- ・各種灯火類（フォグランプやバルブの変更等）や電気部品の改造が、CDI に悪影響を及ぼす場合があります。このような場合に当社は一切保証しかねますのでご了承下さい。
- ・レースに使用される場合、本製品はバッテリー点火方式のため、レギュレーターを取り外すとエンジンは始動しません。配線加工の際はご注意ください。配線を加工しての使用状態で不具合や破損が発生しても当社は一切保証しかねますのでご了承下さい。
- ・外観上のバリやキズ等のクレームは一切受付られませんのでご了承下さい。
- ・セッティングによるエンジンの焼き付き／損傷、常識の範囲外による改造等でこれに伴う事故の発生については、当社では一切保証しかねますのでご了承下さい。

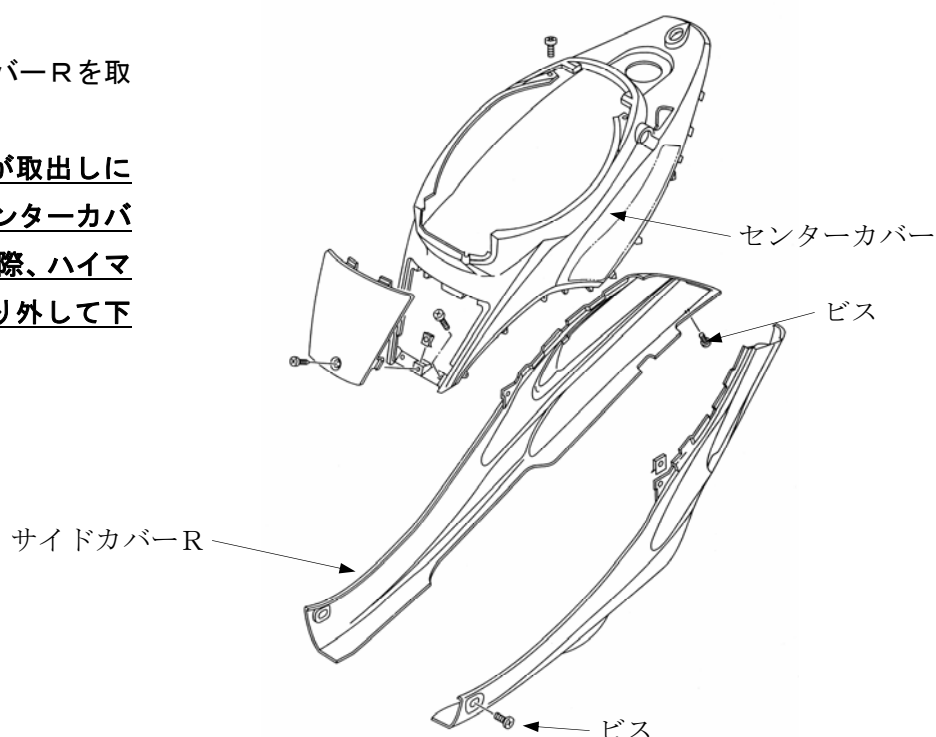
■ 取り付け詳細図 ■

※取り付けの際、不明な箇所はサービスマニュアルをご参照ください。

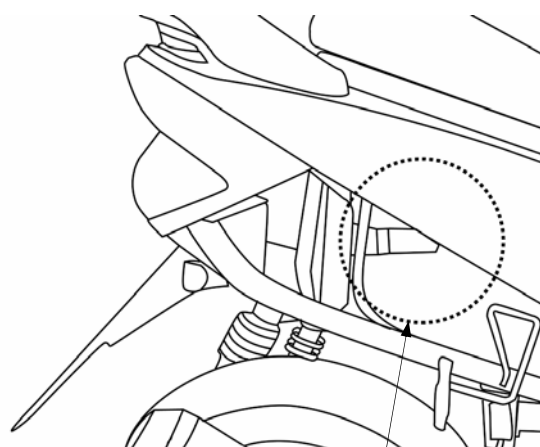
[JOG—ZR系の場合]

- 1, ビス3本を外し、サイドカバーRを取り外します。

※下記取り付け方法でCDIが取出しにくい場合は右図を参照に、センターカバーを取り外して下さい。この際、ハイマウントストップランプも取り外して下さい。



- 2, 純正CDIの取り付け位置を確認して下さい。確認できたら純正CDIをカブラー部分から取り外します。

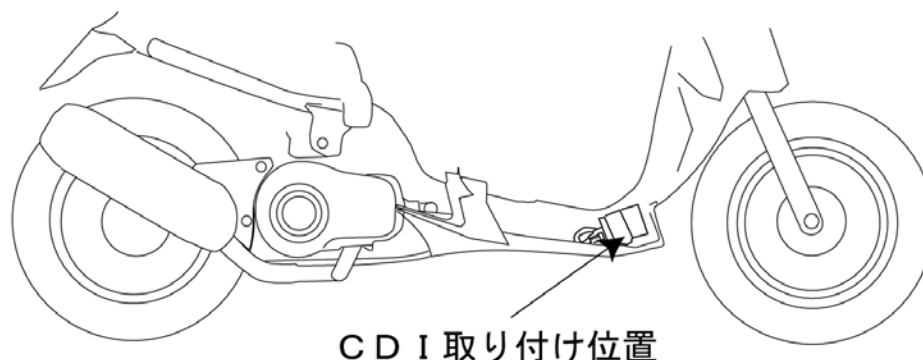


- 3, 1. プログレスCDIを付属の2. タイラップで固定して下さい。
- 4, エンジンを始動してください。エンジンが掛かりにくい場合はキックにて始動して下さい。
- 5, 取り付けの逆の手順で外したパーツを元通り組み付け、作業は完了です。

純正 CDI 取付位置

[アプリオ系の場合]

- 1, 純正CDIの取り付け位置を確認して下さい。確認できたら純正CDIをカプラー部分から取り外し、1. プログレスCDIの配線をカプラー部分で取り付けます。

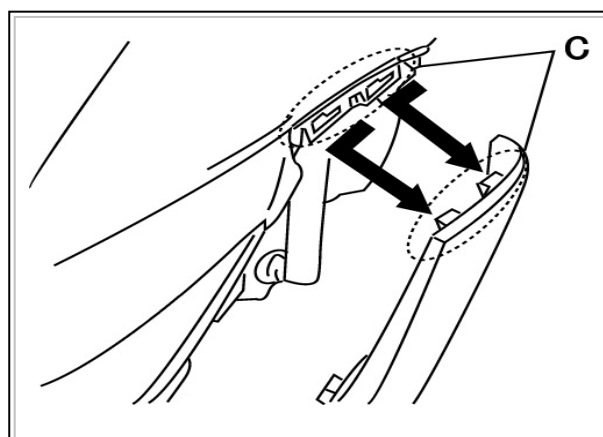
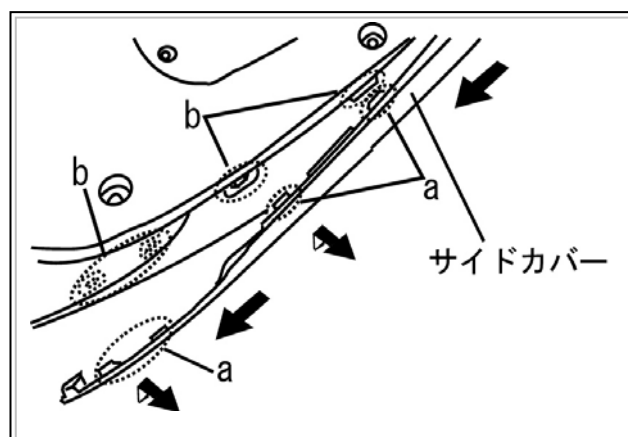


- 3, 2. タイラップバンドを使用し純正CDIの取り付けてあった位置へ取り付けます。
- 4, エンジンを始動して下さい。この時、エンジンが始動しにくい場合はキックで始動して下さい。
- 5, エンジンが始動できる事を確認したら、取り外したパーツを元通り組み付け、作業は終了です。

[リモコンJOG-ZR系の場合]

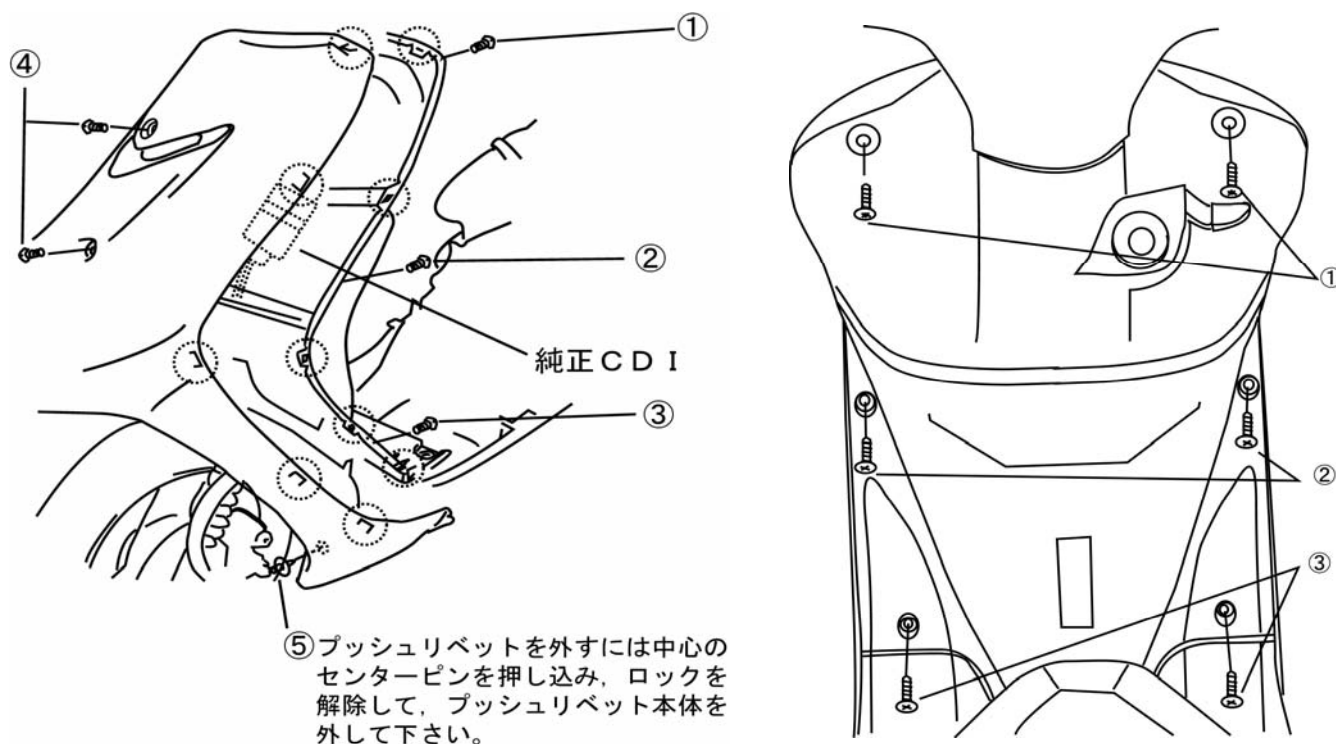
<サイドカバーの取り外し>

- 1, 左右のサイドカバーの取り付け**ビス 3 本**をそれぞれ外し、図を参考に a 部分を b 部分から外します。その際、車体前方から順に上方に持ち上げて取り外して下さい。
- 2, C 部分は前方にスライドさせて取り外します。



＜フロントカバーの取り外し＞

- 3, 図を参考に①～③のビス（トルクスネジを含む）各2本ずつ計6本を取り外します。
- 4, 図を参考に④ネジ3本と⑤プッシュリベット2本を取り外します。
- 5, フロントカバーの爪部分を折らないよう、慎重にフロントカバーを取り外してください。
- 6, 純正のCDIをコネクターから外し、1. プログレスCDIと差し替えてください。



- 7, 1. プログレスCDIを付属の2. タイラップで固定して下さい。
- 8, エンジンを始動してください。エンジンが掛かりにくい場合はキックにて始動して下さい。
- 9, 取り付けの逆の手順でフロントカバーとサイドカバーを組み付け、作業は完了です。

故障かな？と思ったら．．．（基本的に純正ＣＤＩから変更した時に起り得る症状を記載しています。）

症状	原因または対処
エンジンが始動できない。 火花が弱い、または飛ばない。	1. カプラーの接続が完全に行われていない。 2. プラグの不良／かぶり 3. ＣＤＩの不良が考えられます。
キックでは始動できるがセルで始動できない。またはセルが回らない。	1. バッテリーの性能低下。または不良 2. プラグの不良／かぶり
アイドリングをしない。または安定しない。	1. バッテリーを取り外した状態やバッテリーの性能が低下している。 2. アイドリングを少し上げてみる。
回転が上がらない	1. プラグキャップは純正を使用していますか？ノイズをひろっている可能性が有ります。 2. プラグはレジスター（抵抗入り）プラグを使用されていますか？ノイズをひろっている可能性が有ります。
高回転まで吹け上がらない。	1. カプラー部の電極が焼けてしまっている。配線部分を確認する。 2. 同時装着パーツとのマッチングが良くない。 3. キャブレター／駆動系のセッティングが合っていない。
走行中エンジンが止まってしまった。	エンジンの破損が考えられますが、ＣＤＩの直接原因とは考えにくいです。セッティングの問題からエンジンの焼き付き等と考えられる。
灯火類が切れてしまった。	灯火類はＣＤＩに直接関係してきません。バルブの組み付け状態を確認する事をお薦めします。
リミッターが解除されない。	エンジンがかかる場合、ＣＤＩは正常に働き、もちろんリミッターも解除されています。純正プーリーやマフラーの働きでリミッターを解除してもスピードの上昇しない構造になっている可能性が高いです。プーリー、マフラー等を変更して下さい。

⚠注意

※当社ＣＤＩをＳＴＤ車輻に装着した場合、ＪＯＧ系の一部の車輻については、ＣＤＩを変更してもマフラーが頭打ちしてしまいスピードが上がりにくくなっています。よって、最高速を上げたい場合、マフラーやプーリー変更をまずお薦め致します。

また、車輻により、メインジェットの番数が低く設定されています。チューニング車輻はもちろんのこと、ＳＴＤ車輻でも高回転までよく回す乗りかたをされる場合には、必ずセッティングを行って下さい。エンジンが焼き付く恐れがあります。

⚠警告

- ・取り付けは確実に行って下さい。また、走行中ネジ部等緩むことがない様に、規定トルクにて確実に締め付けて下さい。
- ・取り付け後、約１００km 走行しましたら、各部を点検してネジ部の増し締めを行って下さい。その後は約５００km 毎に必ず点検し、同様の増し締めを行って下さい。

⚠注意

走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所の点検を行って下さい。